

中学生連載企画

私たちのふるさと松山学 No.36

オーロラ遊歩道とは

オーロラ遊歩道は、和田重次郎顕彰碑から東に向かつて石手川沿いに続く小道です。日の出町の高齢クラブの皆さんを中心に、地域の皆さんによって手入れがされており、「まつやまの大切にしたい景観100選」にも選ばれています。しかし、地域住民の中にも知らない人が多く、拓南中学校の生徒もあまり関心をもっていませんでした。

そこで、重次郎の偉業について学びながら、オーロラ遊歩道の緑化・美化活動をしよと、福祉委員会が全校生徒に呼びかけました。



公民館長さんのお話を聞く

拓南中学校

オーロラ遊歩道を花々のあふれる道に!!
— 和田重次郎に思いを馳せて —

地域の偉人・和田重次郎について学びながら、地域の皆さんと一緒にオーロラ遊歩道の緑化・美化活動を行いました。



地域の皆さんと一緒にパンジーを植える

2月2日、最初の活動には土曜日にもかかわらず40人の仲間が参加し、地域の皆さんと一緒にパンジーの花を植えていきました。一つ一つ丁寧に苗を植え、水をやり、周辺の雑草を抜いたりごみを拾ったりしました。「オーロラ遊歩道が明るくなった」と地域の皆さんに喜んでいただきました。

素鷲小学校でも、オーロラ遊歩道に置くためにプランターでパンジーを育てています。重次郎ゆかりのオーロラ遊歩道を花々のあふれる道にしていくために、これからも小学校や地域の皆さんと協力していきます。

オーロラ遊歩道ボランティアを通して感じたこと

(参加生徒の感想より)
■母親のためにアメリカに行って活やくするなんてすばらしいことだと思います。そして、そんな人が拓南校区にいたことが本当に驚きです。私も誰かのためにがんばれる人になりたいです。

■和田重次郎という名前が知っていたけど、何をしたらか全然知らなかったの、この機会にたくさんを知ることができました。
■校外で地域の皆さんと一緒に活動するほうが楽しいし、自分たちが役に立っていることを肌で感じられるので、とてもいいなと思いました。オーロラ遊歩道が盛り上がるように今後も参加したいです。

地域の人へのインタビュー

オーロラ遊歩道の緑化・美化活動の後、福祉委員会のメンバー4人が、和田重次郎に詳しいお二人にお話を伺いました。



インタビューの様子

和田重次郎顕彰会事務局長 上岡 幹夫さん

◎和田重次郎さんを広くみんなに知ってもらいたいというお気持ちをどうしてもたれたのですか？

▲校区の日の出町出身の偉人・和田重次郎の精神と母親への気持ちを知り、広くみんなに伝えたいと顕彰会を立ち上げました。

◎拓南中学校の生徒に伝えたい思いやメッセージを教えてください。

▲重次郎は17歳でアメリカへ渡り、犬ぞりで冒険し、道の開拓もしました。人種差別があり、一生懸命がんばっても足を引つ張られることや疑いをかけられることもありましたが、でも彼は乗り越えがなりました。人生の中で辛いことや苦しいことがあっても、彼のようにがんばってほしいです。

探検家 和田重次郎

幼いころに父を亡くした重次郎は、母・セツとともにセツの実家がある温泉郡素鷲村(現・日の出町)に身を寄せた。母を助けて働いていたが、17歳の時、単身アメリカに渡る。捕鯨船に乗り3年間北氷洋を航海する間に、乗組員から英語や測量技術を学び、さらに、寄港した地でイヌイトから犬ぞりの操作方法を教わった。

その後、前人未踏の地アラスカに降り、犬ぞりで探検しながら多くの金鉱や油田を発掘した。アラスカ史上に残るタナナ・スタンピート(ゴールドラッシュ)を引き起こしたのも彼である。明治時代後半から大正時代にかけて北極圏で延べ6,000時間の探検をし、人は彼のことを「犬ぞり使いの神様」と呼んだ。



和田重次郎 胸像

また、彼は遠い極寒の地でセツのことを思い、苦勞して稼いだお金の全てを母に送金し続けたという。今日、多くの日本人が探検家として世界中で活躍しているが、その偉大な先駆者となった人物である。

拓南中学校作成資料「日の出の英雄 和田重次郎」より

す。がんばると必ず良いことがあります。
素鷲公民館長 近藤 哲夫さん
◎オーロラ遊歩道は今後どのようにになってほしいですか？
▲小・中学生、高齢者をはじめとする地域の皆さんとともに美化活動を根付かせたいです。その活動を重ねることで「絆の遊歩道」として交流を深めていきたいと思っています。
◎地域の皆さんに伝えたいことを教えてください。
▲ぜひ、このオーロラ遊歩道を訪れ、和田重次郎という素晴らしい人がいたことを知ってほしいです。

インタビューを終えて



(後列左から) 吉田 琴音さん、藤田 優来さん、山上 紗空さん、竹内 芽生さん (取材時いずれも2年生) (前列左から) 上岡さん、近藤さん

人の役に立つということが人生の中でどんなに大切なことか知ることができました。(吉田) ▼親孝行をした重次郎さん。とてもすごいと感じました。重次郎さんのようになりたいです。(藤田) ▼オーロラ遊歩道は重次郎さんのいろいろなことが詰まった大切な道だということが分かりました。(山上) ▼オーロラ遊歩道をこれからきれいにしていきたい、皆さんの人に知ってもらいたいと思います。(竹内)

先人と文化の読み物教材 広がれ! ふるさと松山の心

松山ゆかりの先人78人と伝統文化や歴史のお話17話を掲載しています。購入方法など詳細は市教育研修センター事務所 ☎989-15144へお問い合わせください。



「語り継ぎたいふるさと松山百話 I・II・III・IV」もあります